

株式会社ハイレックスコーポレーション

**2024年10月期
通期決算のご説明
(IR資料)**

- 2024年通期決算概要（連結）
営業利益～純利益（連結）
- 連結貸借対照表・設備投資の状況
2024年度 通期業績予想・中期計画値
- 事業の現状と今後の方向性/取組について
- 株主還元

決算概要（連結）～ セグメント別業績
営業利益～純利益

決算サマリー（連結）

- * 売上高の増加は、円安の影響により海外拠点売上高の邦貨換算額が増したことによるもの
- * 営業利益は、北米事業が生産面の混乱等で業績が低迷したこと等により減少
- * 当期純利益は、投資有価証券売却益を計上したこと等により大きく増加

(百万円)

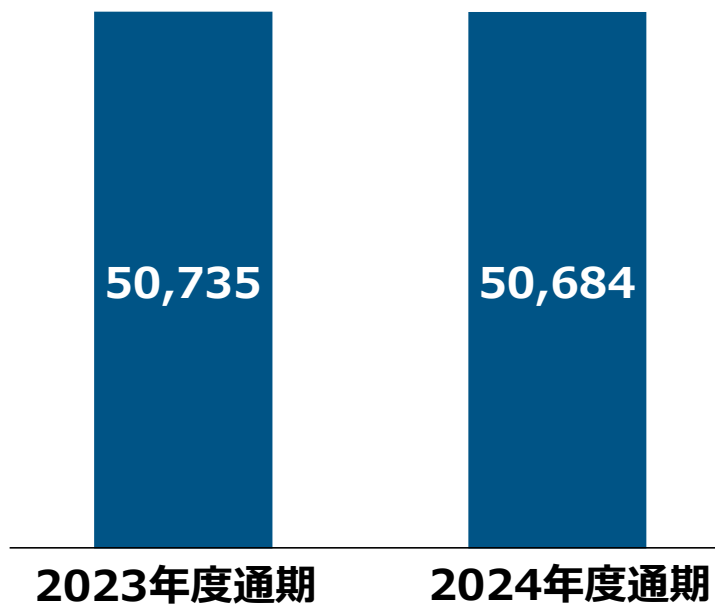
	2024年10月期 通期業績	2023年10月期 通期実績	増減額	増減率
売上高	308,382	298,623	+9,759	+3.3%
営業利益	365	2,980	▲2,615	▲87.8%
経常利益	2,727	5,327	▲2,600	▲48.8%
当期純利益	1,973	▲2,991	+4,964	—

地域セグメント 日本

* 売上高は、2023年度から微減

* 営業損益は、2023年度発生 of 半導体調達関連特別費用がなくなったこと等により改善

■ 売上高（外部顧客）（百万円）



■ 2023年度比 増減額・増減率

売上高	▲51百万円 (▲0.1%)
営業利益	+52百万円 (+3.4%)

■ 営業利益

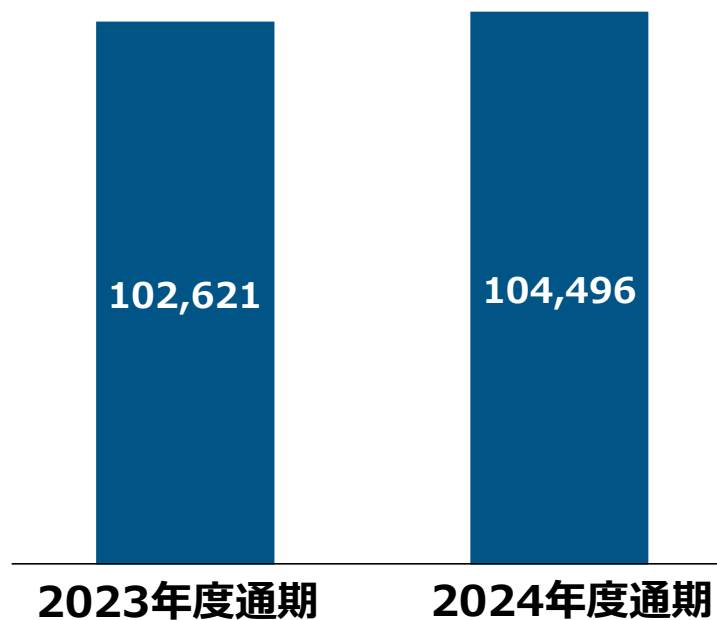
■ セグメント ■ 本社費用 ■ 調整後（百万円）



地域セグメント 北米

- * 売上高から対前年での円安邦貨換算影響7,990百万円を控除すると▲6.0%の減収
- * 営業損益は、経理上の過年度修正と 生産面での混乱等から大きく悪化

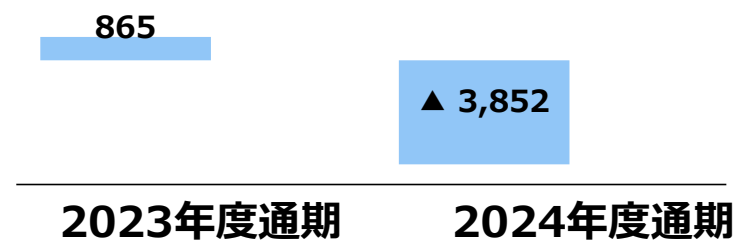
■ 売上高（外部顧客） (百万円)



■ 2023年度比 増減額・増減率

売上高	+1,875百万円 (+1.8%)
営業利益	▲4,717百万円 (—)

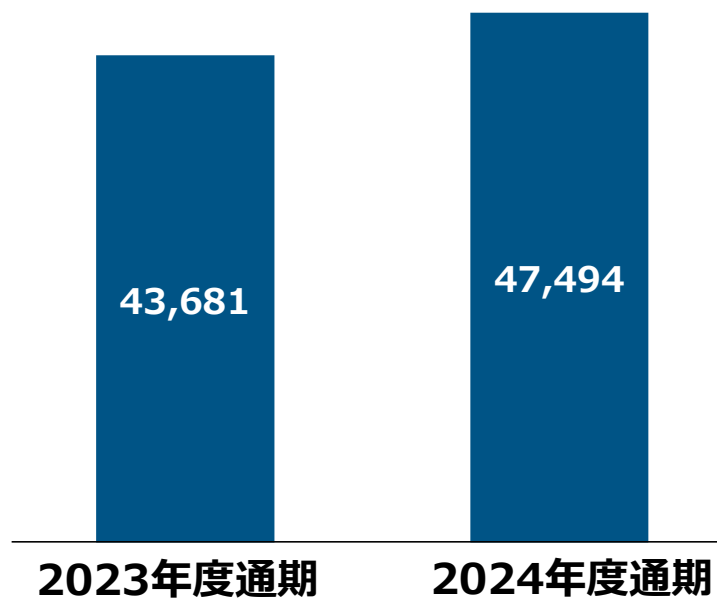
■ 営業利益 (百万円)



地域セグメント 中国

- * 売上高は、中国ローカル自動車メーカー向け販売の伸びにより前年比+8.7%
- * 営業損益は、販売の伸びとコスト削減策の効果で黒字化

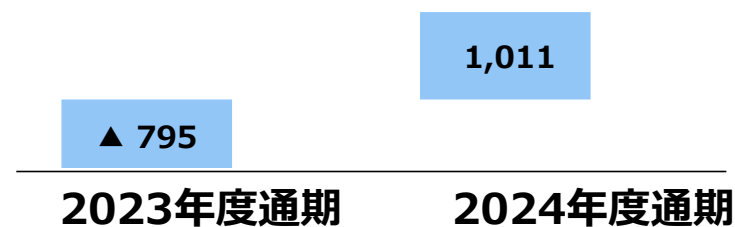
■ 売上高（外部顧客） （百万円）



■ 2023年度比 増減額・増減率

売上高	+3,813百万円 (+8.7%)
営業利益	+1,806百万円 (—)

■ 営業利益 （百万円）

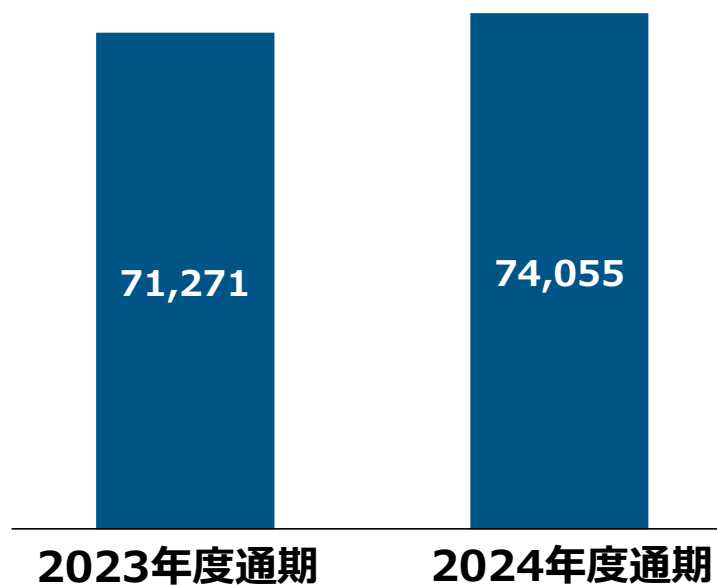


地域セグメント アジア (韓国、インド、インドネシア、ベトナム)

* 売上高は、韓国、インドでの販売が堅調に伸び前年比+3.9%

* 営業利益は、インドのラッチ製造子会社での増産準備費用等により▲8.7%減益

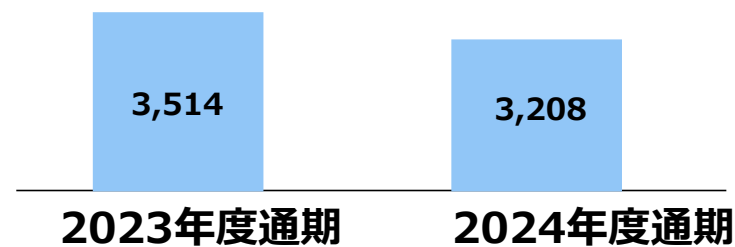
■ 売上高 (外部顧客) (百万円)



■ 2023年度比 増減額・増減率

売上高	+2,784百万円 (+3.9%)
営業利益	▲306百万円 (▲8.7%)

■ 営業利益 (百万円)

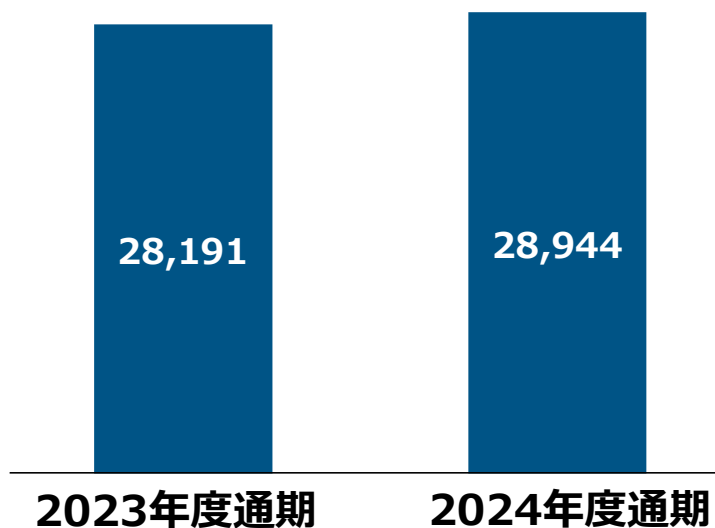


地域セグメント 欧州 (ハンガリー/イタリア/スペイン/チェコ/セルビア)

* 売上高から対前年での円安邦貨換算影響2,623百万円を控除すると▲6.6%の減収

* 営業損益は、チェコ拠点、スペイン拠点の収益改善により黒字化

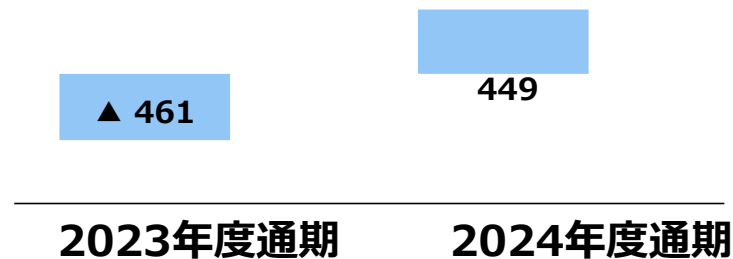
■ 売上高 (外部顧客) (百万円)



■ 2023年度比 増減額・増減率

売上高	+753百万円 (+2.7%)
営業利益	+910百万円 (—)

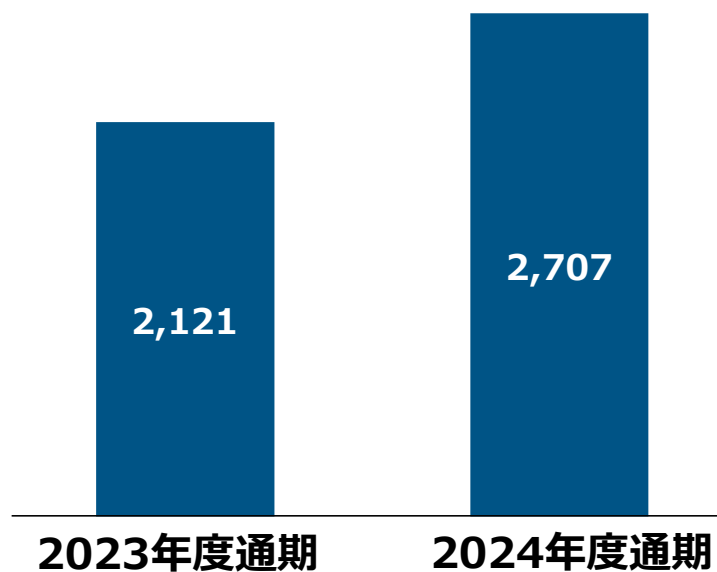
■ 営業利益 (百万円)



地域セグメント 南米

- * 売上高は、主要顧客の増産により好調に推移
- * 営業損益は、好調な販売に支えられて営業損失額が減少

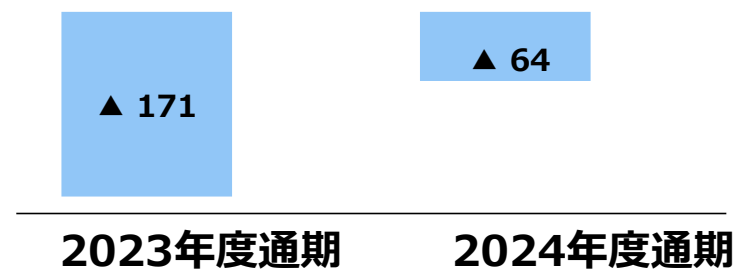
■ 売上高（外部顧客）（百万円）



■ 2023年度比 増減額・増減率

売上高	+586百万円 (+27.6%)
営業利益	+107百万円 (—)

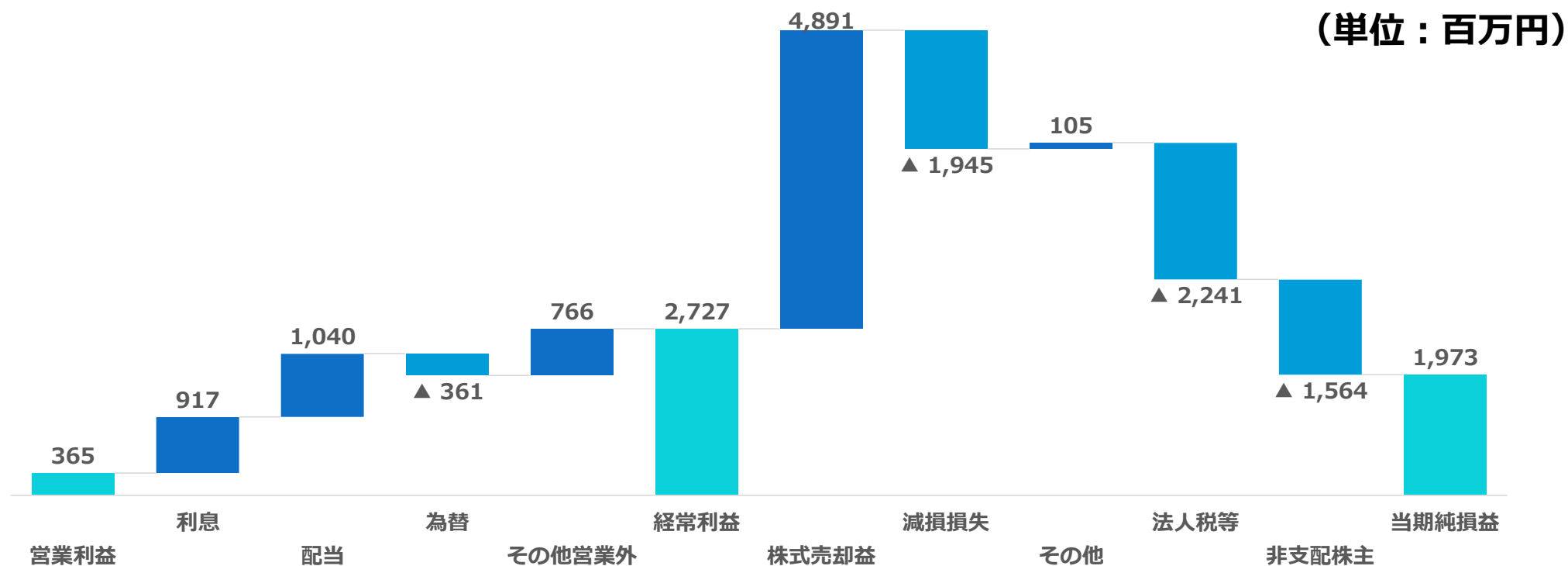
■ 営業利益（百万円）



営業利益～純利益（連結）

* 営業外収益・費用は、受取利息917百万円、受取配当金1,040円等 例年通り

* 減損損失の主なものは、ハンガリー拠点の固定資産減損▲1,677百万円



連結貸借対照表～設備投資～通期業績予想～中期計画値

連結貸借対照表

* 投資有価証券の売却48億9千1百万円等で現預金が増加

(単位：百万円)

* 自己資本比率 62.4%

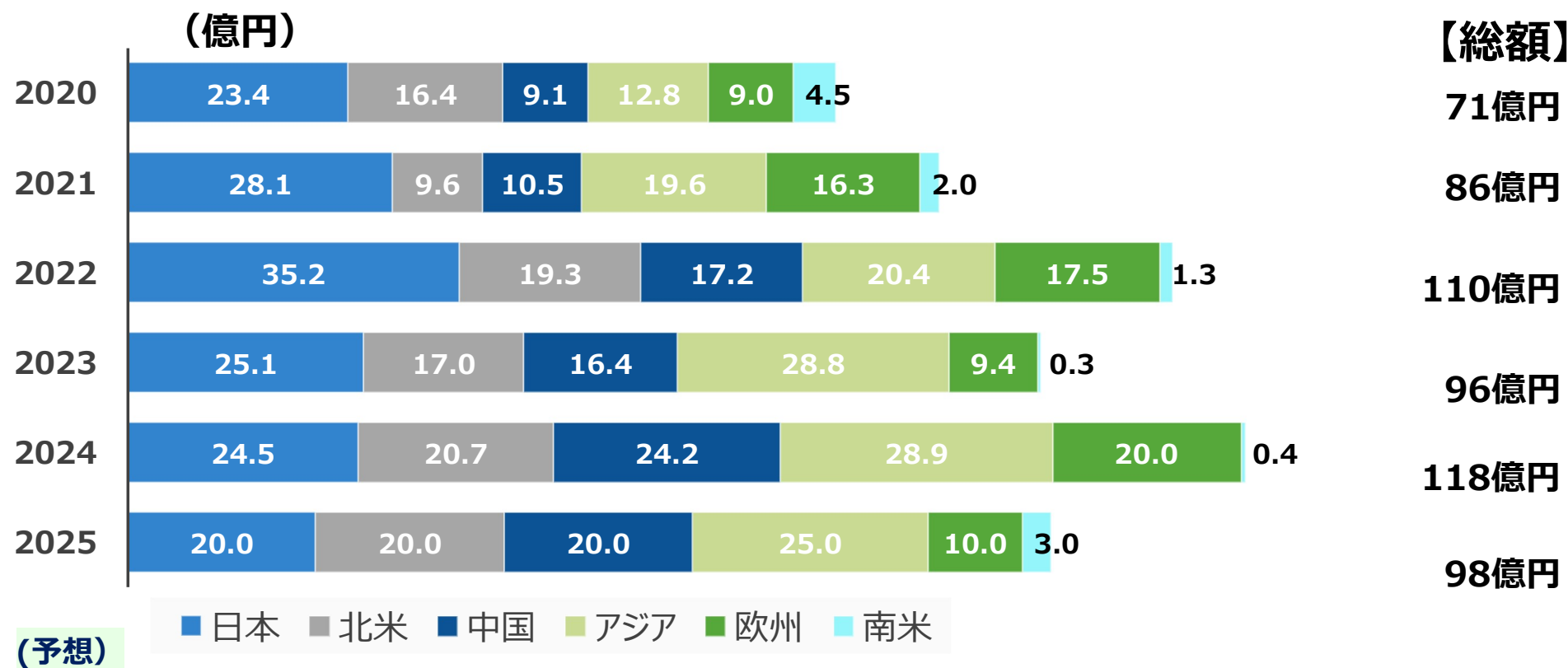
	22年10月	23年10月	24年10月	対23年増減
流動資産	143,258	151,671	146,659	▲5,011
現預金	40,533	46,310	50,175	+3,864
受手・売掛金	46,883	51,475	47,704	▲3,771
有価証券	8,949	10,000	7,345	▲2,655
棚卸資産	37,880	36,364	34,750	▲1,613
その他	9,012	7,520	6,684	▲836
固定資産	127,055	129,317	123,597	▲5,720
有形固定資産	68,766	66,052	63,250	▲2,801
無形固定資産	3,604	4,027	3,966	▲60
投資その他	54,677	59,237	56,397	▲2,858
資産合計	270,314	280,994	270,260	▲10,733

	22年10月	23年10月	24年10月	対23年増減
流動負債	67,268	74,029	69,689	▲4,339
固定負債	14,267	15,785	15,983	+198
負債合計	81,535	89,814	85,673	▲4,141
株主資本	135,738	131,054	129,773	▲1,281
その他包括利益累計額	36,581	44,339	39,188	▲5,150
新株予約権	33	33	33	—
非支配株主持分	16,424	15,752	15,592	▲160
純資産合計	188,778	191,179	184,587	▲6,592
負債・純資産合計	270,314	280,994	270,260	▲10,733

設備投資の状況

2025年は総額98億円の設備投資を計画。

- * 日本、北米は生産拠点の最適化にともなう投資等
- * 中国、アジアはシステム製品の生産設備への投資等



2025年度 通期業績予想（連結）

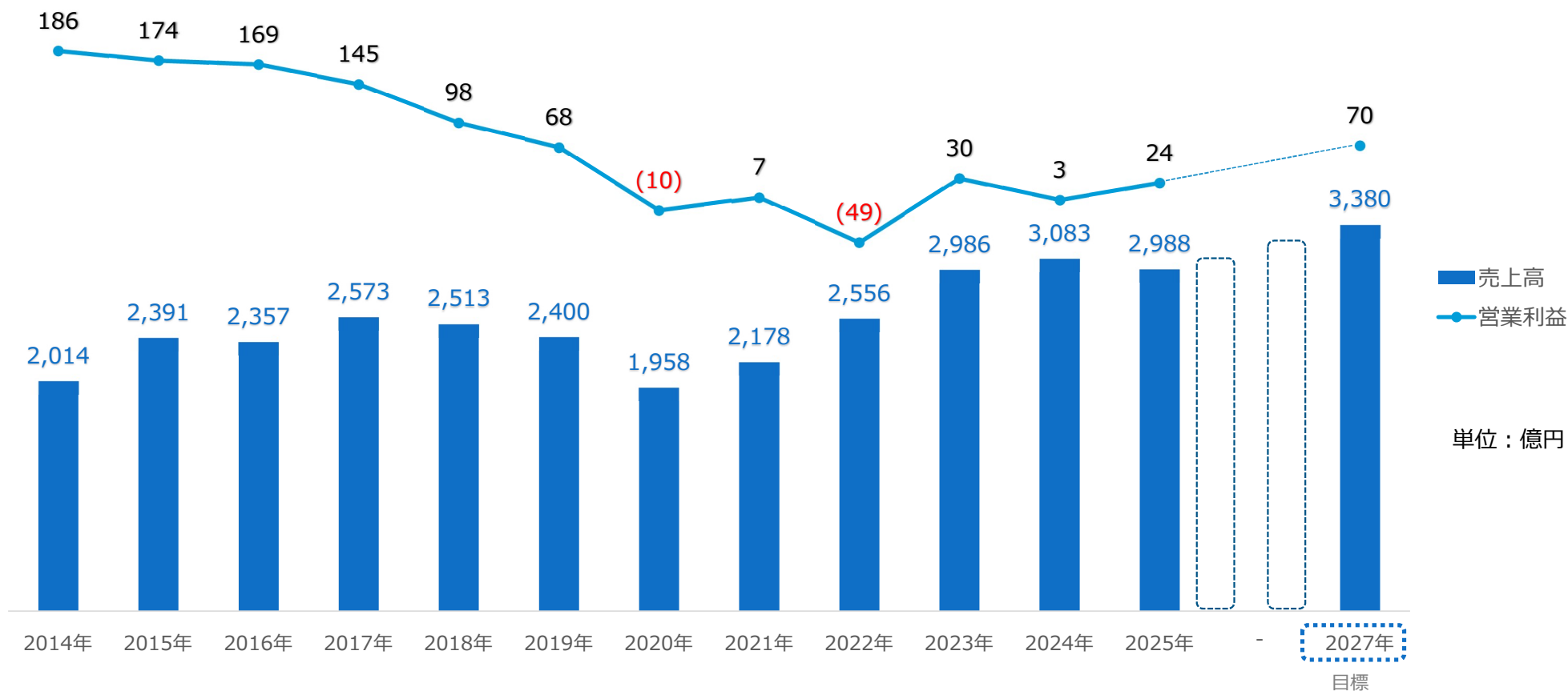
- * 売上高は、欧州等で売上の減少が見込まれ微減
- * 営業利益は、北米事業の収益回復等により20億円の増益を見込む

(百万円)

	2025年10月期 通期業績予想	2024年10月期 通期実績	増減額	増減率
売上高	298,800	308,382	▲9,582	▲3.1%
営業利益	2,400	365	+2,035	+557.3%
経常利益	4,500	2,727	+1,773	+65.0%
当期純利益	2,000	1,973	+27	+1.3%

想定為替レート： ¥148.50/\$、 ¥20.70/元、 ¥158.00/€

中期計画値



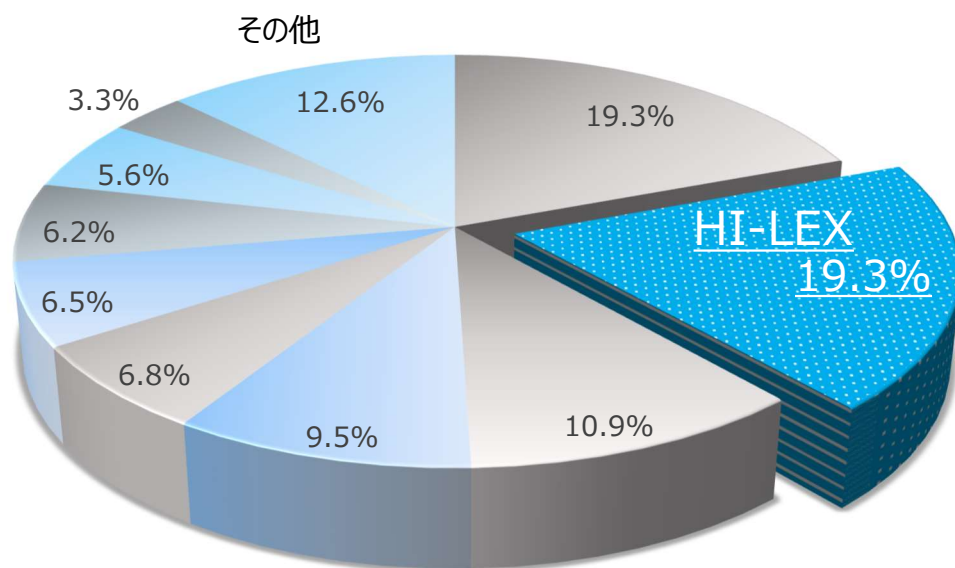
事業の現状と今後の方向性について

当社事業の状況（グローバルシェア）

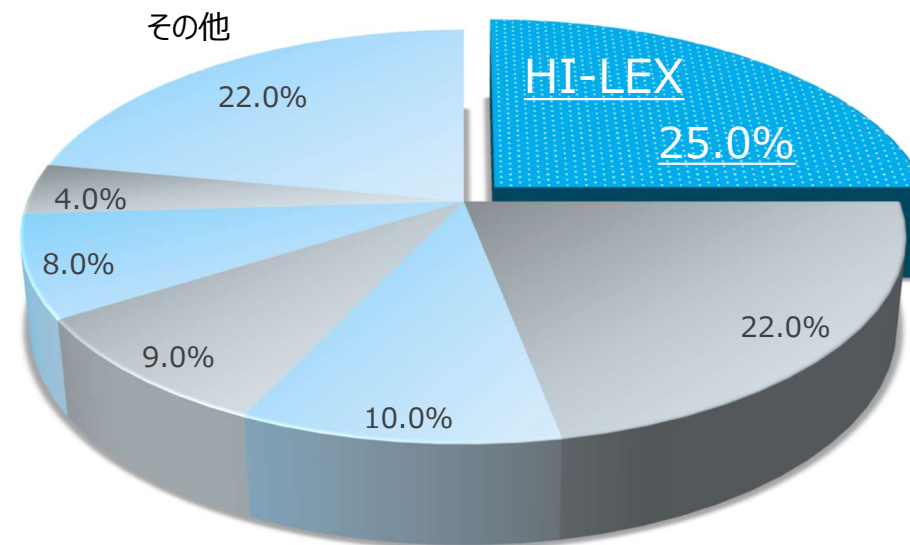
過去のM&Aによりウインドレギュレータのシェア拡大
グローバル市場でのプレゼンスを確立

（当社調べ）

ドアモジュール ウインドレギュレータ



コントロールケーブル

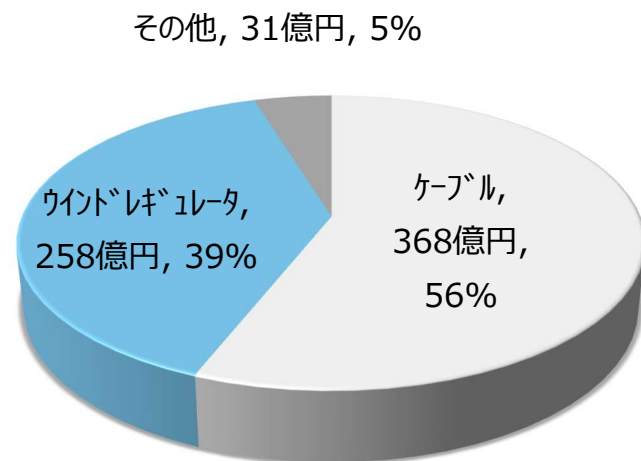


当社事業の状況（品種別売上高）

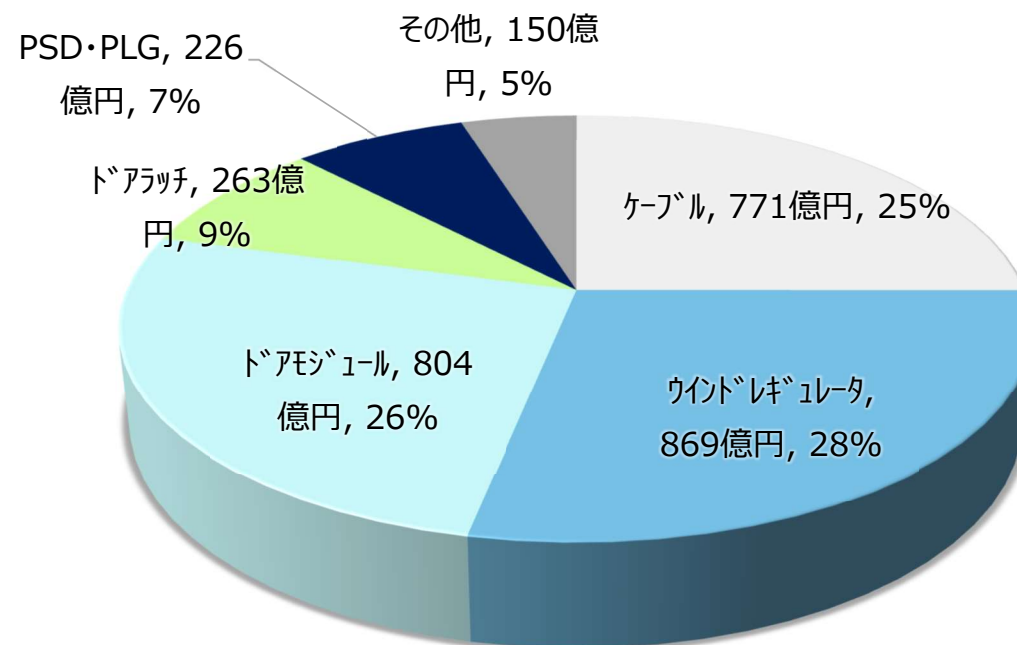
製品構成に大きな変化

- ・ 創業来の中核品種だったケーブルの比率は低下。
- ・ ドアモジュールとウインドレギュレータで計54%。
- ・ ドアラッチ・パワーキーシステム(PLG等)等の新品种も増加。

2000年度
連結 657億円



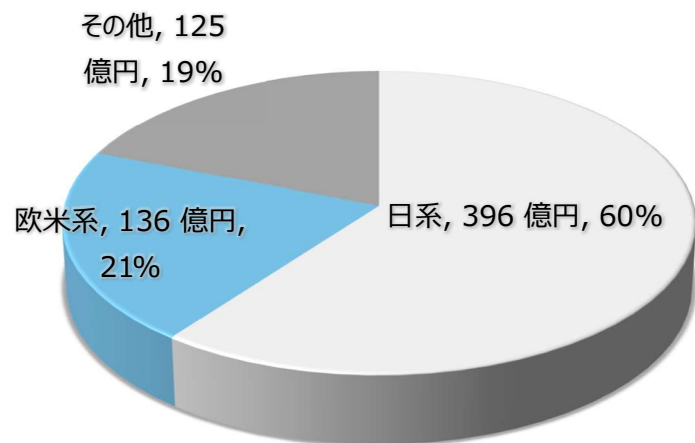
2024年度
連結 3,083億円



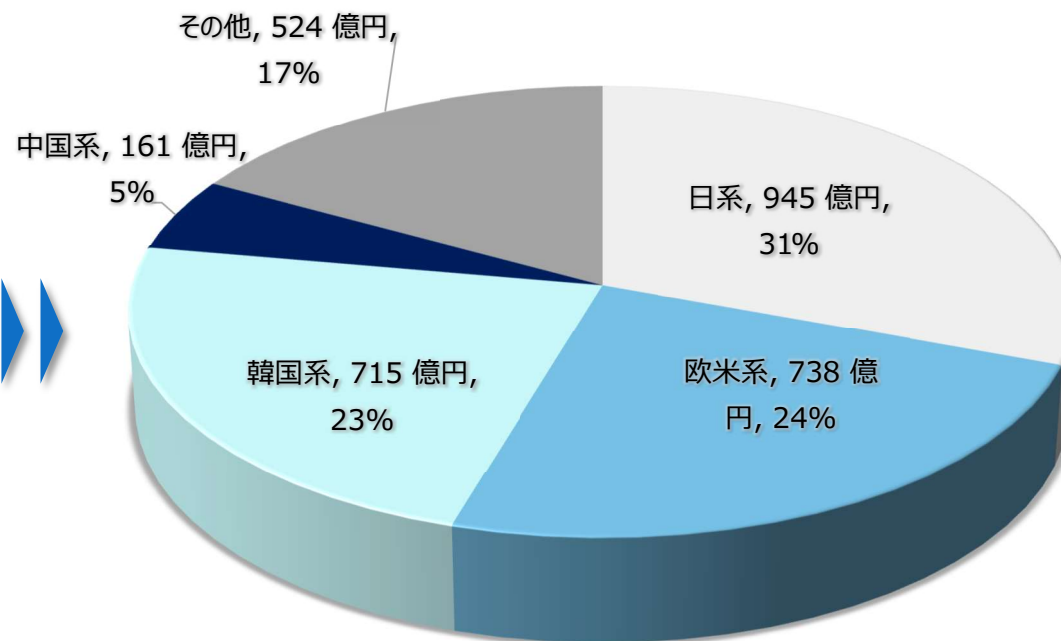
当社事業の状況（得意先別売上高）

過去のM&Aで欧州系・韓国系自動車メーカーへの売上が増加。
市場拡大で中国系への販売も増加。日系顧客向け比率は相対的に減少。

2000年度
連結 657億円



2024年度
連結 3,083億円

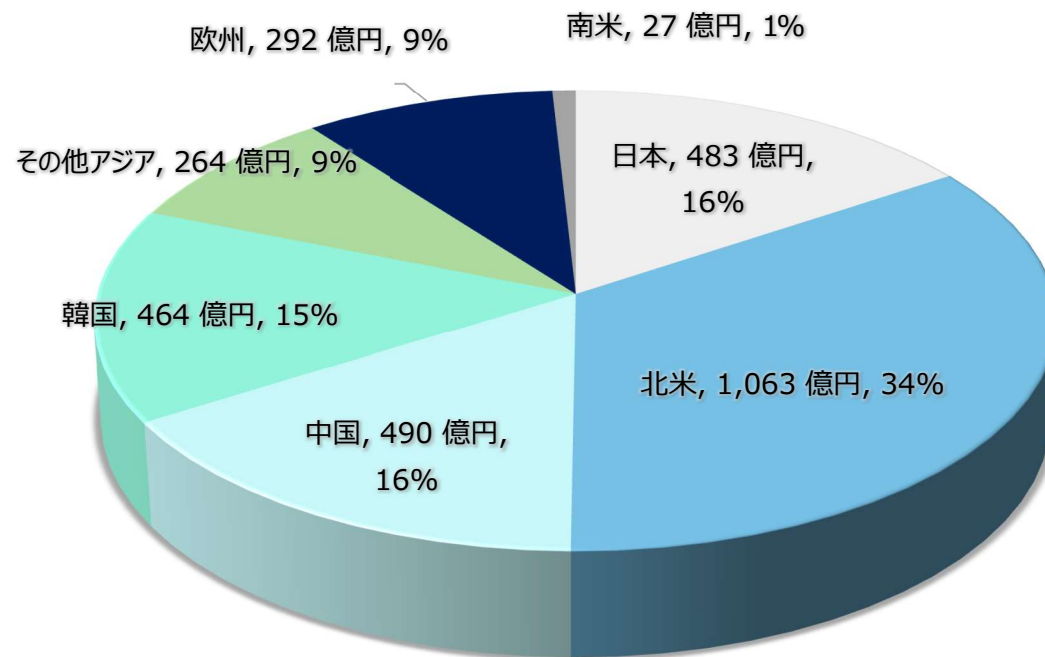
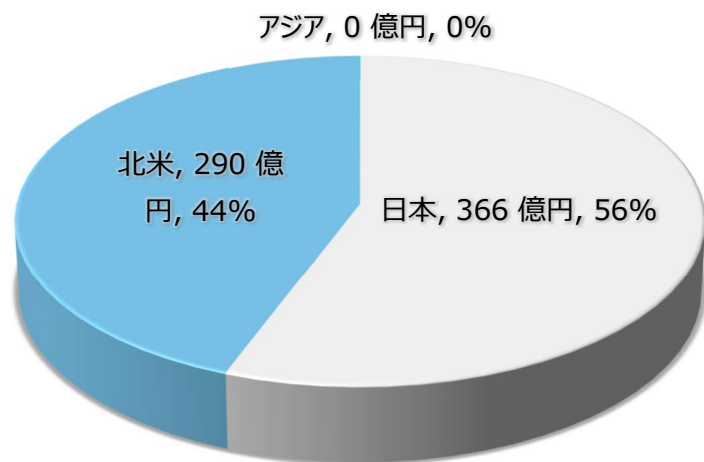


当社事業の状況（セグメント別売上高）

四半世紀の間に、世界各地へ進出。
売上の半分が2000年当時未進出地域、北米は大きく伸長。

2000年度
連結 657億円

2024年度
連結 3,083億円

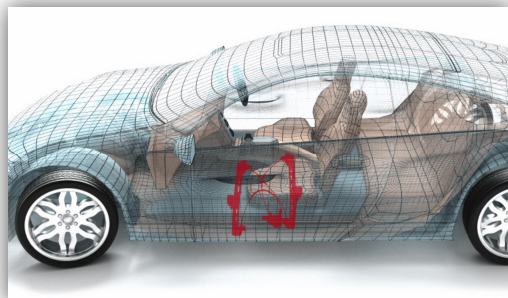


品種や地域の拡大に貢献した主要なM&A等

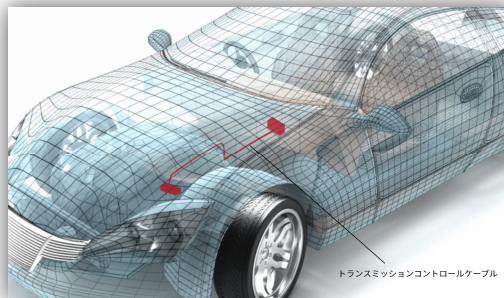
- 2003年 … 合併パートナー株式会社大同システムから
韓国におけるウインドレギュレータ事業の取得
- 2014年 … 株式会社リーハンドアの買収
(韓国リーハングループより韓国でのドアラッチ事業を取得)
- 2016年 … イタリア Lamesグループの買収
(イタリアを中心とした 欧州地域における
ウインドレギュレータ・ドアモジュール事業を取得)

将来の方向性について

(1) 自動車事業・・・コア領域（既存の主力事業）



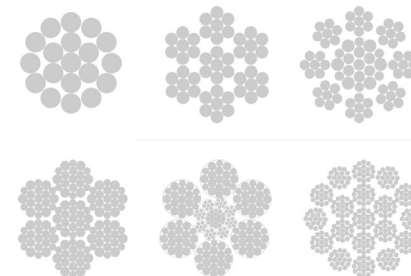
ウインドレギュレータ



コントロールケーブル



撚線



70年来の経験・技術的優位性を活かして、顧客ニーズに合った最適製品を提供

信頼性と競争力の向上で、収益性を強化し、付加価値を追求する

将来の方向性について

(2) 自動車事業・・・成長領域 1 【モビリティ変革に追従した新しい主力製品・新たなビジネス分野】

開発・生産方法の変化
(EVへの移行)



モジュール化・パッケージ化
ニーズの高まり



統合モジュール製品の拡充



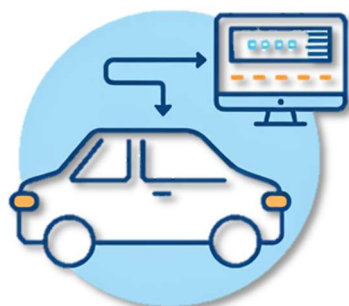
将来の方向性について

(2) 自動車事業・・・成長領域2 【モビリティ変革に追従した新しい主力製品・新たなビジネス分野】

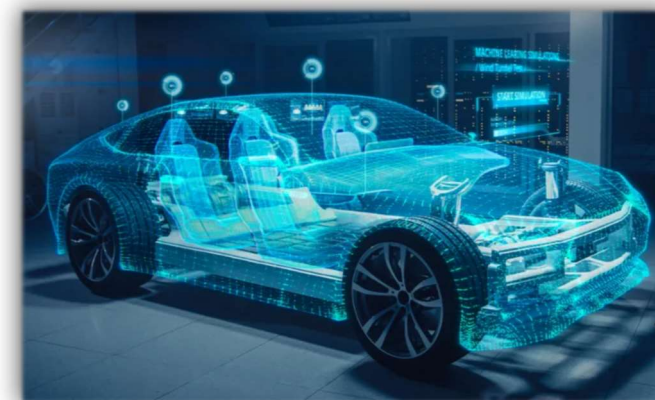
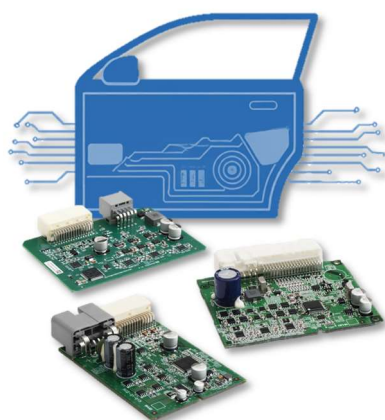
自動車のSDV化
(Software Defined Vehicle)

当社モジュール製品へ
制御技術を統合する

ドア（開閉）システム
サプライヤへ進化



SDV



将来の方向性について

(2) 非自動車事業 1 (産業機器事業)

ビジネスの規模感および収益性の追求



住設・建機…顧客との製品開発およびラインナップ展開



成長産業(ホット・物流) …新規テーマでの参入促進

新規事業…積極的なチャレンジを蓄積し社内人材の強化



新たな価値を持つビジネスの展開

将来の方向性について

(2) 非自動車事業 2 (医療機器事業)

グループの事業部門として自立・自律し、生産規模を拡大



ケーブル技術…医療機器(マイクロカテーテル、ガイドワイヤー、内視鏡処置具)の専門企業へ

精密加工技術…新分野(ロボット、再生医療、コンビネーション機器)を開拓

独自技術…総合人工血管メーカー(透析、循環器系)へ

海外拡大・グローバル展開

新たな価値を持つビジネスの展開

今後の取り組みについて

資産の効率性向上・・・政策保有株式の縮減を推進する。

政策保有株式の売却



政策保有株式保有高

連結純資産比20%超 ⇒ ターゲット 10%

株主還元方針

株主還元について

基本方針・・・長期的な安定配当を維持

- 環境変化等に応じた内部留保レベル
- 長期的な安定配当

内部留保資金の用途

- 成長投資への投入（新製品開発、新市場開拓、R&D）
- M&A等の戦略的な事業展開

HI-LEX CORPORATION

これからも魅力ある技術と人財に磨きをかけ、
お客様に困り事があればまず最初に声をかけていただける会社、

『 To be the First-Call Company 』
for Customer's better choice !!

を当社のミッションステートメントとして掲げ、
その一つ一つのご縁を大切にHI-LEXコーポレーションは発展し続けます。

注意事項・免責事項

本資料は情報提供を目的として作成されており、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社により作成されております。これら記述は将来における業績達成を保証するものではなく、国内外の予測困難なリスクや不確実性による影響を受けた結果、実際の業績等は見通しと異なる結果となる可能性があります。

当社は本資料の情報を利用した結果生じたいかなる損害に関して、一切責任を負うものではありません。

本資料に記載されている情報について、資料作成後の新たな情報の発生に伴い将来の見通しに関する記述を更新もしくは改訂することを当社は約束するものではありません。

本資料に記載されている情報の内容については、予告なしに変更される可能性があります。